

次号予告

特集 業務改革のための原価管理：ABCとABM

ABCの展開と応用	吉川 武男 (横浜国立大学)
業務改善としてのABM	陳 豊隆 (広島修道大学)
山武ハネウエル(株)湘南工場におけるABC	高橋 朋子 (山武ハネウエル)
ABC/ABMによる経営革新	川野 克典 (朝日アーサーアンダーセン)
ロジスティクス改革とABC	梶田 ひかる (日通総合研究所)

編集後記

●季刊学会誌を発行する他学会の編集委員から4月に開放されました。季刊誌発行に戸惑っていた私にとって、オペレーションズ・リサーチ学会誌(OR誌)が毎月発行されることは驚きでした。優雅な水鳥が水面下では水掻きを慌ただしく動かしているように、編集委員の方々は働いているのだろうと想像していました。今年度からは想像するだけでは済まされません。とはいっても学事予定と編集委員会が度々重なり、今のところ陸に上がった水鳥を決め込んでいます。

●今年は学会創立40周年ですが、学会誌は42巻です。不思議に思い森村英典先生にお尋ねしてみました。元々OR誌は1956年に日科技連から隔月刊誌として創刊され、約20年前にOR学会に移管されたそうです。1年間で2巻発行された年があるため2つのずれが生じました。先生は日科技連時代最後、そして学会時代最初の編集委員長だったのです。移管後の事務量は移

管前とは比較にならず、月刊誌としていつまで発行できるか自信がなかったそうです。

●4月までの経験から、創立当初からの月刊誌発行は難しいだろうと感じました。創立から約20年にして月刊誌を発行できるだけの自力ある学会に発展したのでしょうか。後進を育てることがいかに重要かを物語っているように思います。今回の特集「高校生のためのOR(2)」は、まさに後進を発掘するためのものです。多くの高校生また大学生がORに興味を持つことを願っています。

●学生を持つようになり、後進を育てるにはどうすれば良いかと考えることがあります。良い環境を作ることと漠然とした答えは持っています。目標とできる人、切磋琢磨できる良きライバルがいるOR学会は私にとって良い環境です。若い人にとっても学会が良い環境であるように私自身そろそろ努力する必要があるでしょうね。(田村明久)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 上田徹(成蹊大学)、葛山康典(早稲田大学)、國澤直樹(東京電力(株))、栗田治(慶応義塾大学)、笹山晋一(東京ガス(株))、椎名孝之(財団法人電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、外嶋成留(住友金属工業(株))、田中宏和(神奈川工科大学)、田村明久(電気通信大学)、原 裕淳(株東芝)、宮崎知明(富士通(株))、矢島安敏(東京工業大学)、山下英明(駒澤大学)、吉野秀明(日本電信電話(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成9年12月号 第42巻 第12号 通巻444号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 大山 達 雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円) 年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ